



2026年7月6日

各位

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス
コード番号 4004 東証プライム市場
代表者名 代表取締役社長 高橋 秀仁
問合せ先 ブランド・コミュニケーション部長 尾懸 香名子

クラサケミカル（石油化学事業）のパーシャル・スピノフに関するアップデートのお知らせ （子会社株式の現物配当及び子会社の異動に関する方針決定について）

当社は、2024年2月14日付「石油化学事業のパーシャル・スピノフ検討開始に関するお知らせ」、2024年7月23日付「石油化学事業に関する子会社（分割準備会社）設立に関するお知らせ」及び、2024年10月22日付「石油化学事業のパーシャル・スピノフに向けたグループ組織再編（簡易吸収分割及び現物配当）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、石油化学事業を営む当社の完全子会社であるクラサケミカル株式会社（以下「クラサケミカル」）のパーシャル・スピノフ（以下「本スピノフ」）に関し、具体的な準備を進めてきました。このたび当社は、本スピノフに関し、産業競争力強化法に基づく事業再編計画の認定を受けたことから、その内容を具体化し、2026年8月下旬開催予定の取締役会において、本スピノフの実行について付議することといたしましたので、現時点における本スピノフの計画について、以下のとおりお知らせいたします。

なお、本スピノフの詳細については、当社ホームページのIR情報も併せてご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/ir>

記

1. 本スピノフの概要

本スピノフは、当社が保有するクラサケミカルの普通株式（以下「クラサケミカル株式」）の80%超を当社株主の皆様へ現物配当により分配するものであり、分配割合は当社普通株式（以下「当社株式」）1株につき、クラサケミカル株式1株とする予定です。また、本スピノフの実行は、クラサケミカル株式の東京証券取引所（以下「東証」）スタンダード市場への上場を前提としています。クラサケミカルは、2026年4月下旬に新規上場に向けた東証への申請を行っています。かかる新規上場は、ダイレクトリスティング方式（日本国内の金融商品取引所に上場していない内国会社が上場前の公募・売出しを行わずに株式を上場することをいいます。）にて行うことを予定しています。

当社は、本スピノフに関して産業競争力強化法に基づく事業再編計画の認定を2026年6月12日付で受けており、同法に基づき、2026年8月下旬の当社取締役会決議をもって2026年10月に本スピノフとしての現物配当を実行することを予定しています。本スピノフの実行後、当社が保有するクラサケミカル株式の持分比率は20%未満となる予定です。

なお、本スピノフの実行は、東証からのクラサケミカル株式の上場承認の取得等を条件としています。

2. 当社株式を保有する株主における取り扱い

(1) 現物配当の概要

本スピノフの実行により、2026年9月30日を基準日として、同日の当社の発行済株式数（自己株式を除く）及びクラサケミカルの発行済株式総数（自己株式及び当社保有分を除く）が一致する前提で、同日の当社株主名簿に記録された株主の保有する当社株式1株につき、クラサケミカル株式1株の割合で現物配当を行う予定です。現物配当の権利付最終日は2026年9月28日、権利落ち日は2026年9月29日となる予定であり、当社株主は2026年10月1日にクラサケミカル株式の分配を受けることとなります。クラサケミカル株式の上場日は当社株式の権利落ち日である2026年9月29日となる予定であり、2026年10月1日の現物配当の実行に先立ち、当該上場日以降、東証においてクラサケミカル株式の取引が可能となる予定です。

(2) クラサケミカル株式の上場日の株価形成

クラサケミカル株式の上場日における初値は、当該上場日の最初の板中心値段を基準に定められる気配運用の上限値段及び下限値段にそれぞれ通常の更新値幅分を加味した範囲内で、投資家の同株式に対する実際の需給に基づき決定されます。なお、本スピノフに伴うクラサケミカル株式の上場においては、ダイレクトリスティング方式が採用されるため、かかる最初の板中心値段は、幹事取引参加者であるみずほ証券株式会社が提出する流通参考値段を参考に、東証により決定されます。

(3) 現物配当の日程（予定）

日程	内容
2026年8月下旬	現物配当実行に係る当社取締役会決議
2026年9月28日（月曜日）	当社株式の権利付最終日
2026年9月29日（火曜日）	当社株式の権利落ち日 クラサケミカル株式の東証上場予定日（分配対象となるクラサケミカル株式の東証での取引が可能となる日）
2026年9月30日（水曜日）	現物配当基準日
2026年10月1日（木曜日）	現物配当効力発生日/分配実行日

(4) 現物配当に関する税務上の取扱い

① 日本における課税について

本スピノフでは、日本の税制上、当社はクラサケミカル株式の現物配当に係る株式譲渡損益課税を受けることはなく、また、当該クラサケミカル株式の分配を受ける当社株主の皆様も課税を受けないこととなります。

② 日本における税務上の取得価額の取扱い

日本の税制上、本スピノフ直後のクラサケミカル株式及び当社株式の税務上の各取得価額は、税務上の分配資産割合を用いて以下の算式により計算された価額となります。なお、本日時点の分配資産割合の概算値は「0.09」程度と見込まれますが、確定次第、改めてお知らせします。

- 本スピノフ直前の当社株式の取得価額(X)
- 本スピノフ直後のクラサケミカル株式の取得価額(Y) = (X) × 分配資産割合
- 本スピノフ直後の当社株式の取得価額(Z) = (X) - (Y)

※ 法人株主の場合、「取得価額」を「(税務上の)帳簿価額」と読み替えて計算します。

なお、上記の税務上の取得価額は、クラサケミカル株式及び当社株式のそれぞれの取引値段及び株式価値を意味するものではありません。

※ 上記の税務上の取扱いは、本スピンオフとしての現物配当に関する日本における税務上の取扱いの概要を説明するものであり、網羅的にご説明するものではなく、また、現物配当に関して日本以外の国・地域における税務上の取扱いをご説明するものでもありません。日本を含めた各国・各地域の税法上の取扱いの詳細については、税理士等の税務専門家にご確認ください。

3. 当社連結業績への影響

本スピンオフの実行による当社連結業績への影響は精査中であり、現時点では確定していません(※)。本スピンオフの実行後、当社が保有するクラサケミカル株式の持分比率は 20%未満となるため、クラサケミカルは当社の連結子会社ではなくなり、持分法適用対象外となる予定です。

※ 国際財務報告基準（以下「IFRS」）に基づく当社の連結財務諸表において、本スピンオフに伴い、主に以下の会計処理を行う予定です。

- 本スピンオフの実行方針に係る決定に伴い、2026 年度第 3 四半期より、IFRS 第 5 号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に従い、クラサケミカルセグメントを非継続事業に分類します。その結果、連結損益計算書において、クラサケミカルセグメントの収益、費用を、クラサケミカルセグメントを除く継続事業と区分し、非継続事業からの当期損益として表示します。また、連結財政状態計算書においては、クラサケミカルセグメントの資産及び負債を所有者分配目的で保有する処分グループに分類します。所有者分配目的保有に分類された処分グループについては、その帳簿価額と、当該処分グループの分配に直接起因する増分コスト（金融コスト及び法人所得税費用を除く）を控除した公正価値のいずれか低い金額で評価し、かかる増分コスト控除後の公正価値が帳簿価額を下回る場合には、当該差額を損失として非継続事業からの当期損益に計上します。
- 現物配当実行に係る当社取締役会決議に伴い、IFRS 解釈指針委員会（IFRIC）解釈指針第 17 号「所有者に対する非現金資産の分配」に従い、現物配当されるクラサケミカル株式の公正価値に相当する金額を資本から減額し、負債として計上します。
- 本スピンオフの実行時において、IFRS 第 10 号「連結財務諸表」に従い、クラサケミカルセグメントに対する支配の喪失に伴う会計処理（以下「連結除外」）を行います。かかる連結除外には、処分グループに分類されたクラサケミカルセグメントの資産及び負債の認識中止に加えて、主に (1) 現物配当されるクラサケミカル株式の公正価値に相当する金額を負債から取り崩すとともに、当該公正価値相当額と現物配当されるクラサケミカル株式の持分比率相当の処分グループの帳簿価額との差額を非継続事業からの当期損益に計上する処理、及び (2) 本スピンオフ後も当社が継続保有するクラサケミカル株式を公正価値で再評価し、当該継続保有するクラサケミカル株式の持分比率相当の処分グループの帳簿価額との差額を非継続事業からの当期損益に計上する処理が含まれます。

4. 本スピンオフにより異動する子会社の概要

(1) 名称	クラサケミカル株式会社
(2) 所在地	(本店) 大分県大分市大字中ノ洲 2 番地 (東京本社) 東京都港区東新橋二丁目 3 番 17 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 社長 福田 浩嗣
(4) 事業内容	・エチレン、プロピレン等の基礎石油化学製品の製造・販売 ・酢酸を主原料とした有機化学製品の製造・販売

	・合成樹脂製品の製造・販売等	
(5) 資本金	110 百万円	
(6) 設立年月日	2024 年 8 月 1 日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社レゾナック・ホールディングス 100%	
(8) 当社と当該会社との間の関係	資本関係	クラサケミカルは当社の完全子会社です。
	人的関係	2026 年 7 月 6 日現在において、クラサケミカルにおける従業員は全て当社及び株式会社レゾナックからの出向者であります。尚、上場にあたり、クラサケミカルへの転籍を行う予定です。尚、クラサケミカルの役員及び役員に準ずる者に、当社及び株式会社レゾナックからの受入出向者はおりません。
	取引関係	当社との取引については、原則解消する方向で取引方針を検討し、営業取引等継続するものについては、取引の必要性や取引条件の妥当性を検討したうえで継続しております。
	関連当事者への該当状況	当社はクラサケミカル株式を直接保有する親会社として関連当事者に該当します。
(9) 当該会社の最近 1 年間の連結業績の概要*1		
決算期	2025 年 12 月期	
売上収益 (億円)	3,003	
コア営業利益 (億円) *2	47	
EBITDA (億円) *3	105	
EBITDA マージン	3.5%	

*1. 当社が IFRS に則って開示しているクラサケミカルセグメントの業績

*2. IFRS 営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。非経常項目は、その他の収益、その他の費用及び減損損失 (売上原価・販売費及び一般管理費に含まれる)

*3. コア営業利益+減価償却費及び償却費

以 上

本発表文は証券の売付けの申込み、又は、証券の買付けの誘引もしくは申込みの勧誘を行うものではありません。本発表文は、クラサケミカル (石油化学事業) のパーシャル・スピンオフの実行方針に関する決定を一般に公表するものであり、投資の勧誘又はその他の類似行為を行うためのものではありません。米国 1933 年証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の勧誘又は販売を行うことはできません。